



「青い目の人形」について

今年は、6月7日に梅雨入り後、雨模様となる日が続き、作物にとっては恵みの雨となっているようです。私の実家近くのダムも、今までにないほどの少ない貯水量でしたが、少しずつ増えてきたように見えます。

さて、7月15日は、長瀬第一小学校の開校記念日です。153年目を迎えます。長瀬第二小学校との統合から3年目を迎え、伝統ある両校の歴史の1ページを紐解き、「青い目の人形」について思いを馳せてみます。

本校校長室には、第一小と第二小のそれぞれの「青い目の人形」が保管されています。第一小に贈られてきた人形は「エファンビー・ローズ・メリー」という名前で、第二小に贈られてきた人形は「メリー・エリザベット・フレイマー」という名前です。2体とも、昭和2年にアメリカ合衆国から贈られてきました。日本に贈られた友情人形は、約1万2000体で、そのうち1万1000体余りが、日本国内の公立・私立の幼稚園・小学校に配付されたそうです。そのような大量の人形が、アメリカから日本に贈られることになった経緯に関わっていた人物は、日本の渋沢栄一とアメリカのシドニー・L・ギュリックです。

当時、日米関係は極度に悪化していました。そこで、日米間の対外世論を緩和させることを目的として、日米人形交流が計画されました。ギュリックは、国同士の親善のためには、子供同士の親善が大切と考え、日本の子供たちに人形を贈ることを、栄一に提案しました。当時日本は関東大震災の被災によりアメリカはじめ各国から支援を受けている状況下であったため、お礼ができる状況でないことから、栄一は人形の受け入れを一度断ったそうです。しかしギュリックは、「お礼は不要です。日本の子供たちが喜んでくれば、アメリカの子供たちも喜びます。子供たちどうしが仲よくできればそれでよいのです。ひな祭りの3月3日までに贈ります。」と伝えます。その言葉に栄一も心動かされ、人形を受け入れることにするとともに、58体の日本人形を答礼人形として作成しクリスマスに間に合うように11月にアメリカに贈ったそうです。

そのように、お互いまごころを尽くし合った思いのもと、「メリー」と「フレイマー」さんははるばるアメリカから日本に来られたのです。国際文化交流の先駆けともいえる日米人形交流でしたが、その後、現存しているのは300体ほどとされています。そのうちの2体がいる本校、これまで保存していただいていた方々に感謝するとともに、これからも大切に保管していきたいと、改めて思いました。

なお本校では、3年生が総合的な学習の時間に「青い目の人形」について学習しています。また、先日は1年生が学校探検で校長室に訪れ、人形を観察していきました。現代の子供たちにも、100年前の想いは引き継がれているようです。

参考文献:「青い目の人形と近代日本」渋沢栄一とL・ギュリックの夢の行方 是澤博昭著 世織書房

7月の行事予定

【生活目標】1学期のまとめをしっかりとします

- 7月 1日(水) 朝読書、水泳学習(1年)、通学班下校(14:35)
 2日(木) 委員会活動
 6日(月) 水泳学習(5年)
 7日(火) 表彰朝会、水泳学習(4年)、代表委員会、清掃週間
 8日(水) 読み聞かせ、水泳学習(2年)、清掃週間、県SC来校日、通学班下校(14:35)
 9日(木) 挨拶声かけ運動、クラブ活動
 10日(金) 清掃週間
 13日(月) 水泳学習(3年)
 14日(火) 臨時5時間、水泳学習(1年)、学年下校(14:05)
 15日(水) 臨時5時間、水泳学習(2年)、開校記念日(153年目)、学年下校(14:05)
6年修学旅行1日目
 16日(木) 臨時4時間、給食終了、学年下校(13:20)、**6年修学旅行2日目**
 17日(金) 臨時3時間、終業式、通学班下校(11:30)
 20日(月) 海の日、夏季休業日(～8/31)

教育相談日(7/21、22、23、24)

※学期末の臨時日課で、普段よりも早く下校する日があります。交通安全も含め、放課後の過ごし方について学校でも指導いたしますが、ご家庭でもお子さんへの声かけをお願いいたします。



秩父地区硬筆展覧会の審査結果

4年・社会科校外学習

6月12日(金)に4年生の児童が秩父郡市内の社会科校外学習に行ってきました。

秩父クリーンセンターや秩父消防本部、別所浄水場を見学しました。私たちの生活を支えるインフラの大切さを学ぶことができました。

これからの社会科の学習でも、さらに深めていきたいと思います。



5年・宿泊体験学習

6月16日(火)17日(水)の2日間、5年生が長瀬げんきプラザで宿泊体験学習を行いました。1日目はカレー体験やキャンプファイヤーを、2日目はカレー作りを行いました。

学校の仲間との初めての宿泊体験でしたが、仲間たちと考え協力し行動する中で、大きく成長することができました。子供たちにとって、貴重な経験になりました。

